

## 「復活教会広場の輝きと広小路商店街のにぎわい」

林檎の礼拝堂を再生した美術家田窪恭治と飯山市民が作る“輝きのある街”

飯山市と広小路商店街は平成 27 年、北陸新幹線飯山駅開業を機に街の中心部にある復活教会が建てられた約 80 年昔の時代に時計の針を戻し、大人も子供も輝いていた過去を復活し、未来における人と自然の豊かな関係を再構築する試みです。

復活教会のあるところは市の象徴的な場所で飯山駅から 2 km 圏内、城趾公園や集客力のある高橋まゆみ人形館にも近く、造り酒屋やパティスリー、カフェ、フラワーショップ、ミートショップの他写真スタジオ、ジュエリーショップが肩を並べる広小路商店街に囲まれるように位置しています。

しかし現在の教会の周りは、老朽化した蔵が三棟とトタンの外壁による物置蔵が散在し手頃な広さを持つ広場も駐車場に使用されている状態です。

さらに表通りの店舗は整備された広々とした車道を挟むように 2～30 年前に建てられた 3 階建ての小規模なビルが軒を連ねています。各店舗を見渡すと一階の店舗は意匠を施し個性を発揮しているところもありますが、全体的に街として活気に満ちているとは言えない現状です。

特に気になるのが通りに面した店舗の上部である二階、三階にあたる部分です。古ぼけたタイル貼りと生活感のある窓の存在です。せつかく他の商店街と違い、雁木やアーケードがなく開放感のある利点にも関わらず、店なのか住宅なのか、疑問を与え閉じたイメージが濃く、買い物客や観光客から旅の楽しさを奪っています。



## —復活教会広場のにぎわいと広小路商店街が輝くための提案—

### ○復活教会の創造

まず始めに現在の老朽化した蔵や倉庫を整備し、飯山市の観光や回遊性の拠点であり市民の憩いの場所としてヨーロッパの街角に存在するような「ポケットパーク」を作ります。具体策は以下の通り。

1 老朽化した蔵の一棟、あるいは二棟を再生し、高橋まゆみ人形館の分館として新作を展示する“高橋まゆみギャラリー”をオープンする。

2 復活教会の敷地を含め現在駐車場として使用している教会横のスペースを向かい側にある米峰寄りの蔵（東さん）を撤去して駐車場とし、田窪恭治と新日鉄住金が共同開発した鋳鉄製のブロック（10cm×10cm×2.5cm）のCORQ（コルク）を地面に敷き詰めることによって広場を完成させる。

3 「高橋まゆみギャラリー」以外の蔵をレストラン、食堂、カフェなどに造り変える。

4 「広小路界限創造プラン（案）H26年3月（将来構想を実現するための戦略）」の9ページの予想図にある、蔵の前に長く展開したカフェのようなスペース（建物）は広場のスペースから考えて仮説的な椅子とテーブル、パラソルだけにする。

但し、蔵の奥に当たる場所、ノタヤ音楽教室とみゆき野整骨院に面する場所に建設することとする。

5 この教会広場では毎週「土曜日 or 日曜日」に農家から直接運び込まれた新鮮な野菜、草花などのファーマーズマーケットが開かれる。

6 教会の庭では椅子とテーブル、出来ればパラソルを二、三カ所設



置し、土曜と日曜だけ、「ウイークエンドカフェ」をオープンする。

○広小路商店街について

- 1 街灯の色を一塗り替える。
- 2 木製行灯の撤去
- 3 ベンチを置き、花壇と各店の個人的な演出との共存を考える。
- 4 教会広場に通じる路地を二、三本確保し、人々を広場に誘導出来るようなデザインを施す。
- 5 各店舗のファサードのデザインを考え、統一性を持たせる。
- 6 空き店舗の活用方法。
- 7 街や教会広場などの各施設を示す街角サインを数カ所設置する。
- 8 復活教会と各店舗の照明について。